

まちのわだい

Town Topics



下妻産の新そばをどうぞ

道の駅しもつま「新そば祭り」 11月14日・15日

そば名人の手さばきに見入る来客者

下妻産の常陸秋そばを味わってもらおうと、道の駅しもつまで「新そば祭り」が行われました。来場者は、天ぶらの無料サービスが付いたミニそばを食べたり、そば打ち名人による実演販売の手さばきに見入ったりと、新そばを堪能していました。

この日は、水戸市出身のシンガーソングライター・磯山純さんによる「台風18号義援金お届けライブ」も行われました。

9月の関東・東北豪雨で、ピアスパークしもつまが水害にあったことをテレビで知った磯山さんは「昨年2回ライブをした施設だったので、復旧の力になりたい」と、鬼怒川決壊による水害の被害発生直後からライブ活動で義援金への協力を呼び掛けました。

義援金は、ピアスパークしもつまが復旧作業中のため、道の駅とともに「株式会社ふれあい下妻」が管理運営していることから、大塚駅長に手渡されました。



義援金お届けライブを盛り上げる磯山さん



紅葉鮮やかなピンフォールド邸

下妻の歴史的街並み再発見

第3回下妻街並ウォーキング 11月23日

下妻市内の上町、三道地、西町、栗山などの中心部を散策して歴史的街並みを再発見しようと、観光ボランティアを行っている「下妻いいとこ案内人」主催のウォーキングが行われました。小雨が降る中、出発時刻が午前9時半、10時半、午後1時半の3回に計51人が市内外から参加しました。

コースは、皇室関係者も宿泊した昭和モダン和風建築の六芳園からスタートし、下妻発生の地の碑、大正時代に建築された外国人宣教師のピンフォールド邸、城山稲荷神社、親鸞の弟子が創建した光明寺など、地元でも知る人ぞ知る下妻の名所を約2時間かけて巡りました。

つくば市から下妻市のホームページを見て参加したという井内弥恵子さんは「雨もいい感じで、京都に来たみたいなお雰囲気があった。春にはまた参加したい」と笑顔で話し、ウォーキング後の六芳園の庭園でお茶と和菓子を楽しんでいました。



生け花に見入る来場者(11月3日、千代川体育館で)

会場を彩る活動の成果

下妻市文化祭 10月25日、11月23日

「平成27年度下妻市文化祭」の展示発表が、今回は総合体育館の耐震改修工事に伴い変更となった千代川体育館のほか、市民文化会館、下妻公民館、千代川公民館などの会場で行われました。音楽やダンスなどのステージ発表をはじめ、絵や俳句、写真、手芸など市民の多彩な作品が会場を彩り、訪れた人たちは芸術の秋を楽しみました。

千代川体育館で盆栽の展示を見ていた60代の男性は「とても綺麗。身近にあるような植物を人の手で美しい作品にしまうからすごい」と丹精込めて作られた作品を見入っていました。

秋の砂沼湖畔を走る走る

第27回砂沼マラソン大会 11月15日

秋の色づきを見せる砂沼湖畔で、恒例の「砂沼マラソン大会」が開催されました。小雨の降る中でしたが、県内外から1,293人のランナーが参加しました。

災害時の相互応援協定の縁でスポーツ交流を始めた千葉県浦安市からは46人が参加。今回で4回目を迎えました。

東京都江戸川区から参加し、小学生親子(1年生)の部で優勝した落合祐次さん・大貴さん親子。マラソンを初めて走った大貴さんは「砂沼を走るのは気持ちよかった。1位をねらっていたのでとてもうれしい。これからもマラソンを続けたい」と親子での初挑戦で初優勝を喜んでいました。



紅葉の中をスタートする親子ランナーたち

新年準備でしめ縄づくり

下妻神社「しめ縄づくり」 1月3日

新年を迎える準備を整えようと、下妻神社の境内で西町地区の住民など約40人がしめ縄づくりに励みました。

豊加美地区に借りた水田で8月初旬、稲わら用の稲を出穂前に青刈りし、しばらく乾燥させて、稲わらを仕上げていきます。手間を惜しまず作った稲わらを使い、大人たちが丹精込めて1本ずつ編み込むと、それを子どもたちがはさみで綺麗に形を整えていきます。

境内の菩提樹や鳥居などに飾られるしめ縄は、全部で7本。一番大きなもので太さ約30センチ、長さ8メートルにもなります。

今回初めてしめ縄づくりに参加した高野弘光さん(小学5年)は「しめ縄の周り全体を綺麗に整えなくてはいけないのでとても大変。でも、みんなで集まって作業するのは楽しい」と熱心に仲間たちと作業していました。



息を合わせながら縄をしめ上げる大人たち

ひとつひとつ。少しずつ

東部中学校50周年記念式典記念講演 11月4日

昭和42年に旧大騰中学校と旧豊加美中学校の統合により開校した東部中学校が、半世紀の節目を迎え、記念式典を行いました。同校の全校生徒や教職員、保護者など関係者604人が、創立50周年を祝いました。

式典では、オリンピック出場経験を持つプロフィギュアスケーターの鈴木明子さんによる記念講演が行われ、「夢や目標を持つからには、自分からアクションを起こし、コツコツと努力をしていかなければ、絶対にチャンスはつかめない。皆さんも一歩ずつ前に進んでほしい」と自身の闘病生活や葛藤、スケートへの想いを交えながら、少しずつ努力することの大切さを語りました。

生徒会長で3年の磯山直也さんは「鈴木さんの講演を聞いて、他人より倍かかっても努力し、受験を乗り越えたいと思った。チャンスを掴みます」と力強く語りました。



生徒たちに熱く語りかける鈴木さん



満開の菊をゆっくりと楽しむ来客者

菊の香りを浴びて

第30回下妻市菊まつり 11月1日、23日

下妻の秋の風物詩「下妻市菊まつり」が、大宝八幡宮の境内で開催され、菊の愛好者や七五三詣の参拝者などでにぎわいました。

会場には、下妻市菊花会の会員が丹精込めて育てた菊花約600鉢が展示。花卉が大きく盛り上がる「厚物」、管状に流れるように花弁を広げる「管物」、菊花を組み合わせて富士山や五重塔などをかたどった「特作花壇」など、香り立つ華やかな作品が来場者を楽しませていました。

埼玉県さいたま市から訪れた古田晴美さんは「写真では見ていたが、子どもの頃に来た以来で実物を見て驚いた。富士山などの作品は大きいし、鉢植えの菊もとてもきれい」と一緒に来た母親と作品を眺めたり、写真を撮ったりして楽しんでいました。